

2017年3月期（第21期）
第1四半期 決算説明会資料

(2016年4月～6月)

2016年8月10日

日本通信株式会社

I. はじめに

(代表取締役会長 三田 聖二)

II. 第1四半期決算の概要

(代表取締役社長 福田 尚久)

III. 現在の取り組み

(同 上)

IV. Q & A

<ご注意>

本資料に記載された見解、見通し、および予測等は、本資料作成時点での当社の判断によるものです。当社では、これらの情報の正確性を保証するものではありません。また、今後の市場環境の変化等の様々な要因により、今後の見通しおよび予測等が本資料とは異なるものとなる可能性があります。何卒ご承知おきくださいますよう、お願い申し上げます。

はじめに

代表取締役会長

三田 聖二

制度が確立

ガイドライン  法律

多くの事業者が参入

561社（2016年3月末現在）


SIM市場 has arrived!

Now

- ① 市場を広げる
- ② 今度は競争する
- ③ 社会貢献する
 - ・ 内閣の方針の一翼へ

第1四半期決算の概要

代表取締役社長

福田 尚久

第1四半期 実績 (連結)

単位：百万円	Q1 17/3期	前四半期		前年同期	
		Q4 16/3期	Q to Q	Q1 16/3期	Y to Y
売上高	683 100.0%	804 100.0%	▲ 121 ▲15.1%	957 100.0%	▲ 273 ▲28.6%
売上原価	513 75.2%	602 74.9%	▲ 88 ▲14.7%	595 62.2%	▲ 81 ▲13.7%
差引売上総利益	169 24.8%	201 25.1%	▲ 32 ▲16.0%	361 37.8%	▲ 192 ▲53.1%
販売費及び一般管理費	497 72.7%	774 96.3%	▲ 277 ▲35.9%	551 57.6%	▲ 54 ▲9.9%
営業利益	▲ 327 ▲47.9%	▲ 573 ▲71.2%	245 -	▲ 189 ▲19.8%	▲ 137 -
経常利益	▲ 298 ▲43.7%	▲ 547 ▲68.0%	249 -	▲ 206 ▲21.6%	▲ 91 -
当四半期純利益	▲ 340 ▲49.8%	▲ 563 ▲70.0%	222 -	▲ 197 ▲20.6%	▲ 142 -

バランスシート (連結)

単位：百万円	Q1 17/3期	前四半期		前年同期	
		Q4 16/3期	Q to Q	Q1 16/3期	Y to Y
流動資産	3,694	4,302	▲ 608	6,166	▲ 2,471
現金及び預金	2,292	2,591	▲ 298	3,441	▲ 1,148
売掛金	1,065	1,148	▲ 82	1,065	▲ 0
商品等	256	291	▲ 35	878	▲ 622
繰延税金資産	219	218	1	298	▲ 79
貸倒引当金	▲ 328	▲ 326	▲ 2	▲ 19	▲ 309
その他流動資産	188	379	▲ 190	501	▲ 312
固定資産	1,443	1,461	▲ 17	1,552	▲ 108
有形固定資産	262	278	▲ 15	339	▲ 77
無形固定資産	1,015	1,021	▲ 6	1,049	▲ 33
投資その他	165	161	3	163	1
資産合計	5,137	5,763	▲ 626	7,718	▲ 2,580
流動負債	2,238	2,307	▲ 68	1,699	538
買掛金	120	159	▲ 38	479	▲ 358
前受収益	97	88	8	55	41
借入金	1,570	1,665	▲ 94	937	633
その他流動負債	449	393	56	227	222
固定負債	563	752	▲ 189	1,356	▲ 792
負債合計	2,802	3,060	▲ 258	3,055	▲ 253
純資産	2,335	2,703	▲ 368	4,662	▲ 2,327
負債純資産合計	5,137	5,763	▲ 626	7,718	▲ 2,580

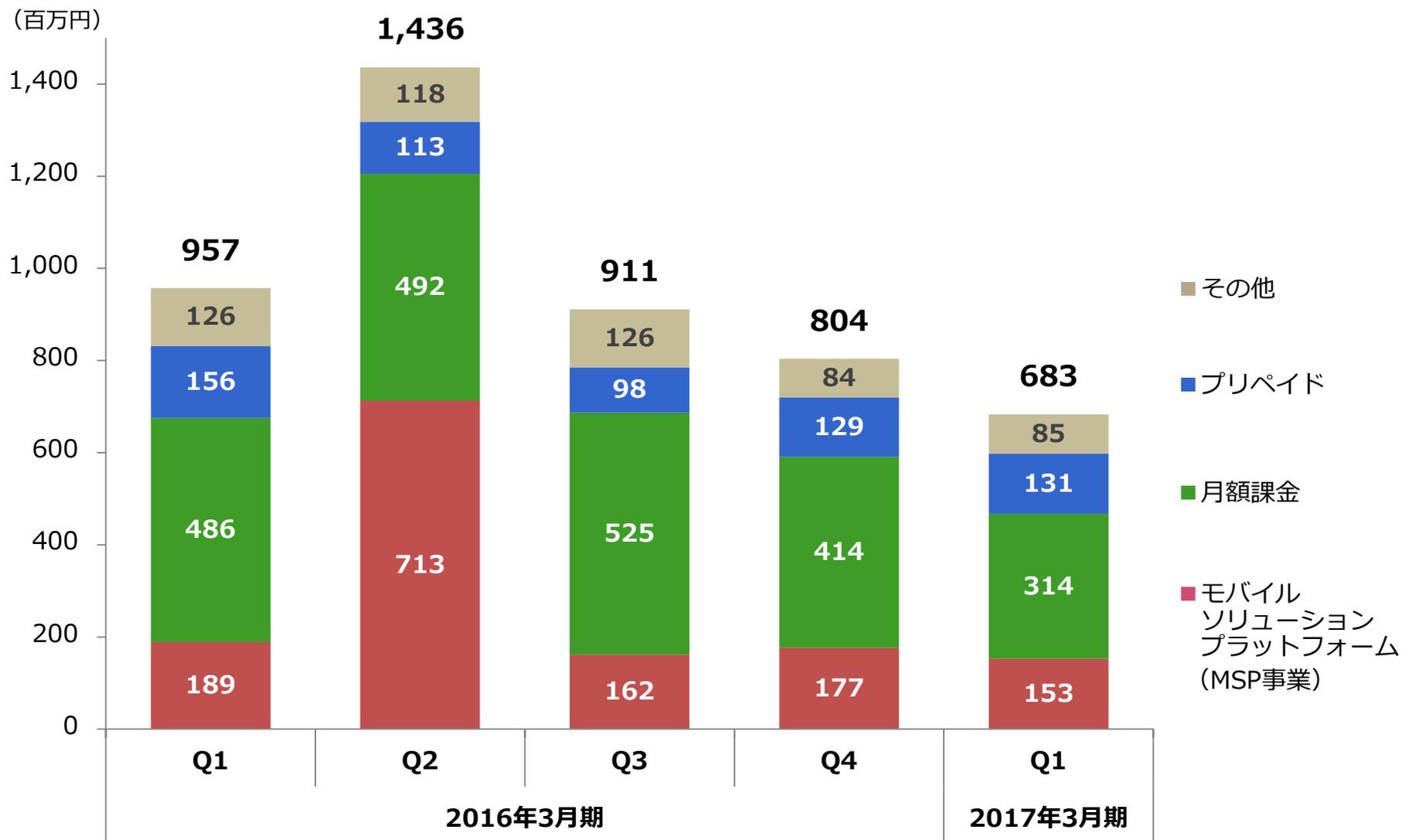
キャッシュ・フロー計算書（連結）

単位：百万円	Q1 17/3期	前四半期		前年同期	
		Q4 16/3期	Q to Q	Q1 16/3期	Y to Y
営業活動によるキャッシュ・フロー	31	▲ 346	378	▲ 427	458
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 73	▲ 56	▲ 16	▲ 214	141
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 205	▲ 310	104	▲ 225	19
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 51	▲ 49	▲ 2	1	▲ 52
現金及び現金同等物の増減額	▲ 298	▲ 762	463	▲ 866	567
現金及び現金同等物の期首残高	1,502	2,265	▲ 762	4,307	▲ 2,804
現金及び現金同等物の期末残高	1,203 ^{※1}	1,502	▲ 298	3,441	▲ 2,237

※1 キャッシュフローステートメントにおける現金及び現金同等物の期末残高には定期預金1,089百万円が含まれていません。貸借対照表における現金及び現金同等物2,292百万円との差額はこの定期預金によるものです。

現在の取り組み

売上内訳

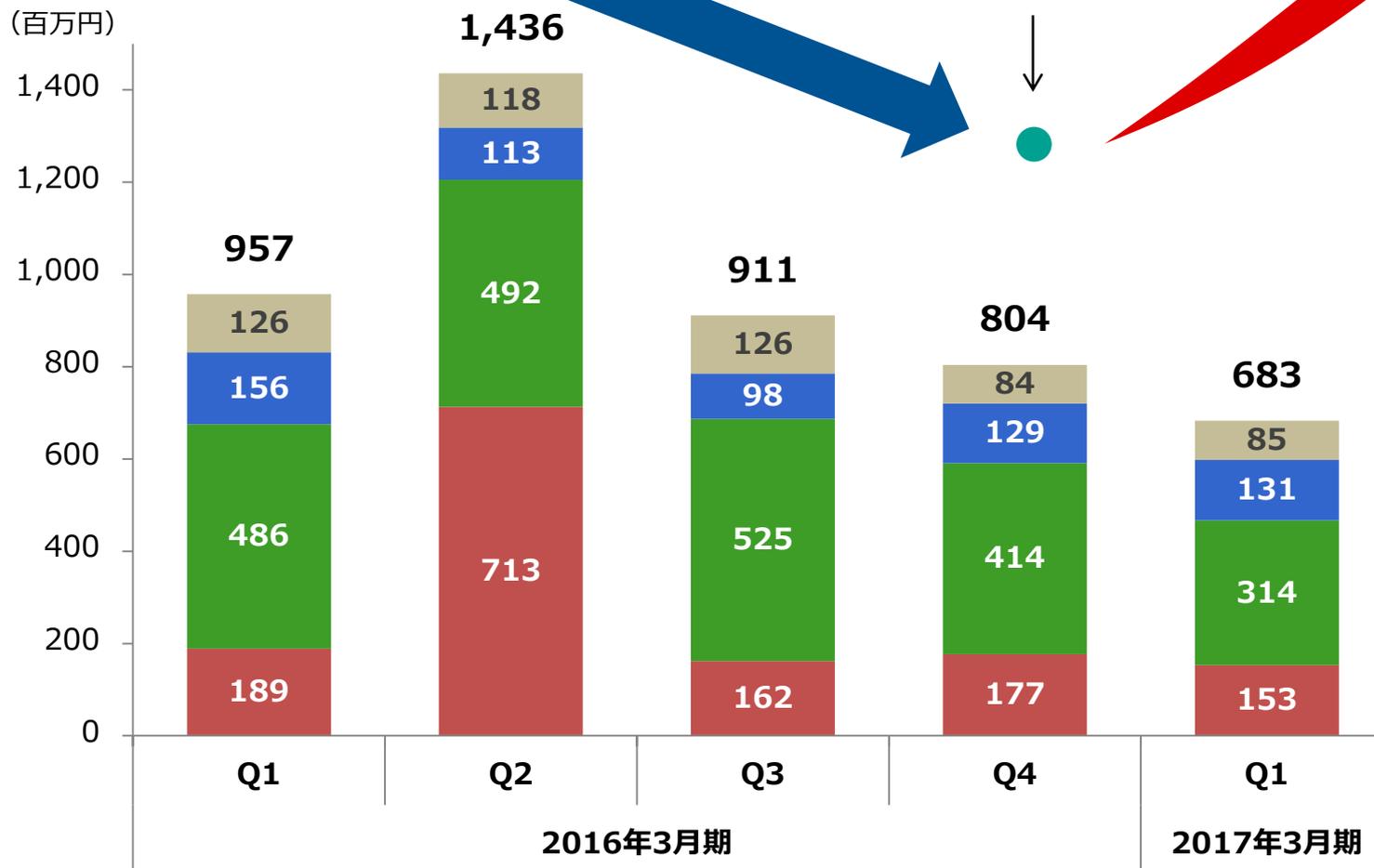


新事業戦略への転換

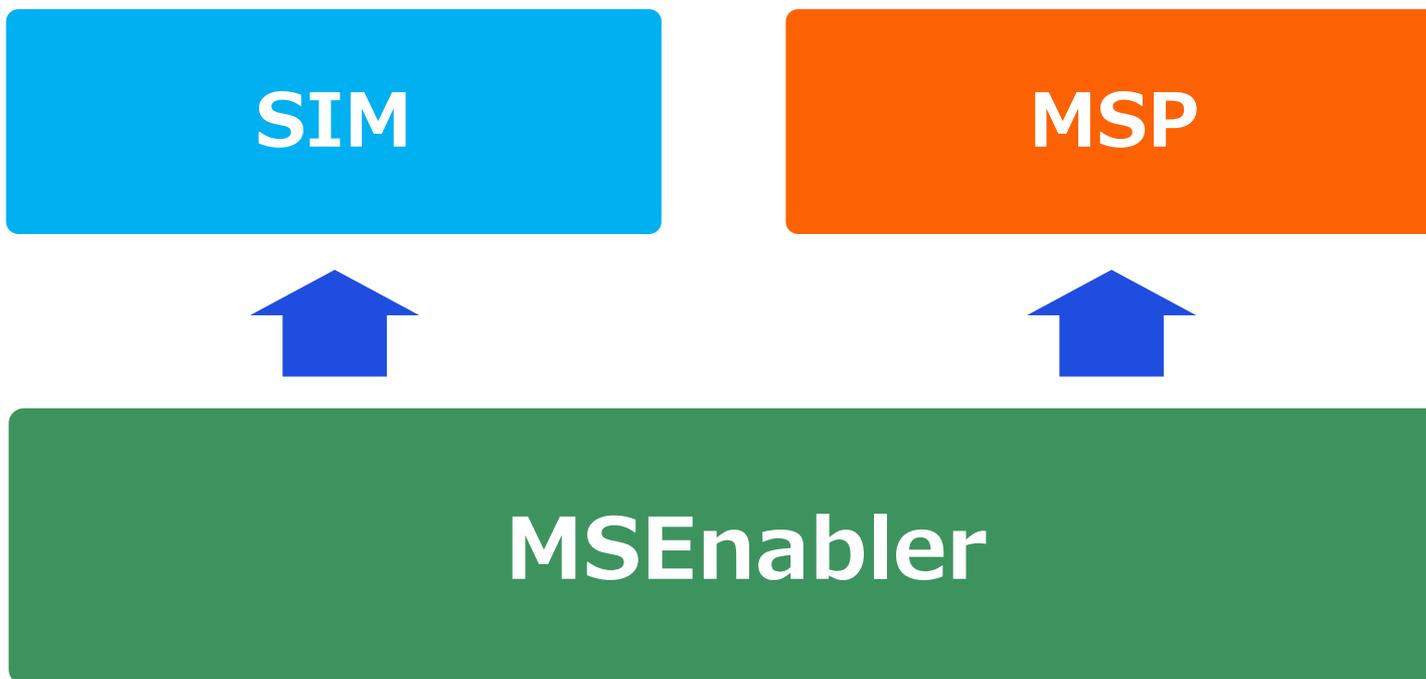
MSP事業に100%集中

新事業戦略

1月22日 発表



2016年1月22日 発表



セキュリティ・ソリューションの提供

2016年5月11日 発表

HITACHI
Inspire the Next
株式会社 日立製作所

Hitachi HighTech

株式会社
日立ハイテクソリューションズ

株式会社
日立ハイテクノロジーズ



 SoftBank
Technology
ソフトバンク・テクノロジー
株式会社

 **FireEye**TM
FireEye, Inc.

•都道府県警察

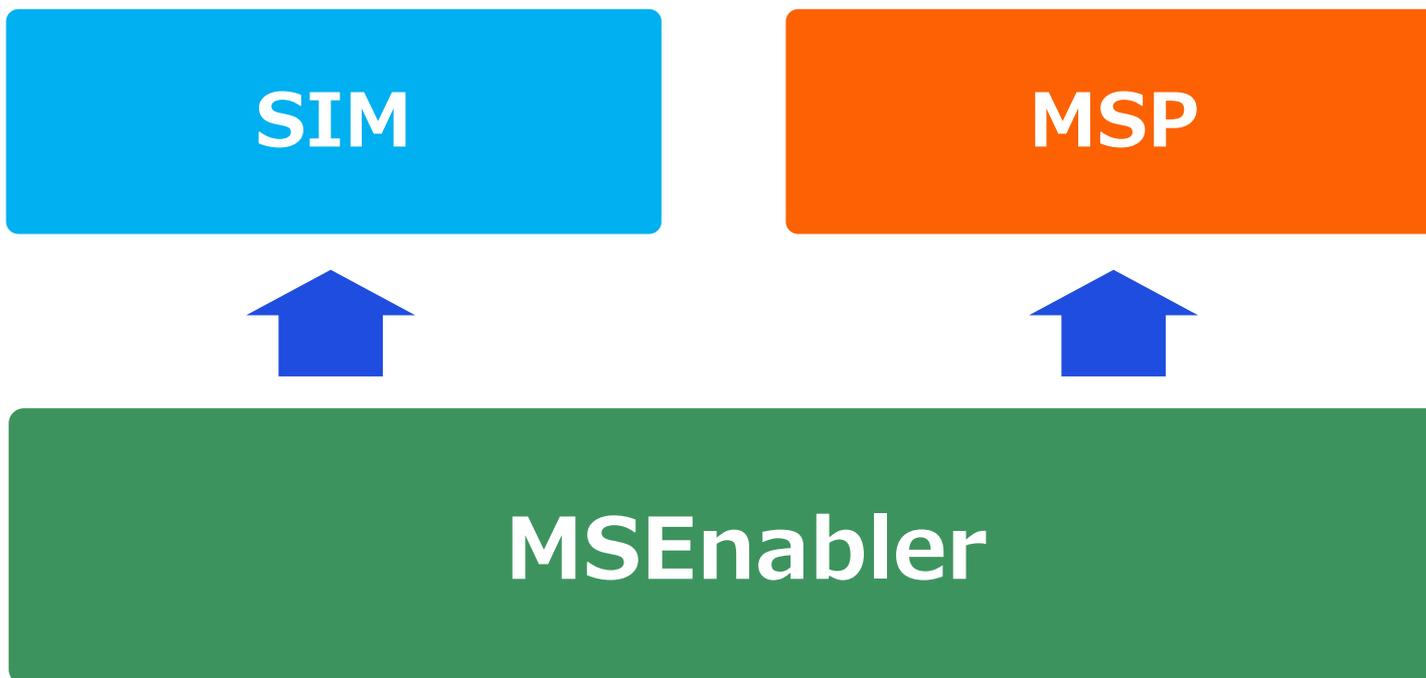
2016年7月29日 発表

•地方自治体



セキュアかつ信頼できる
ネットワークを提供

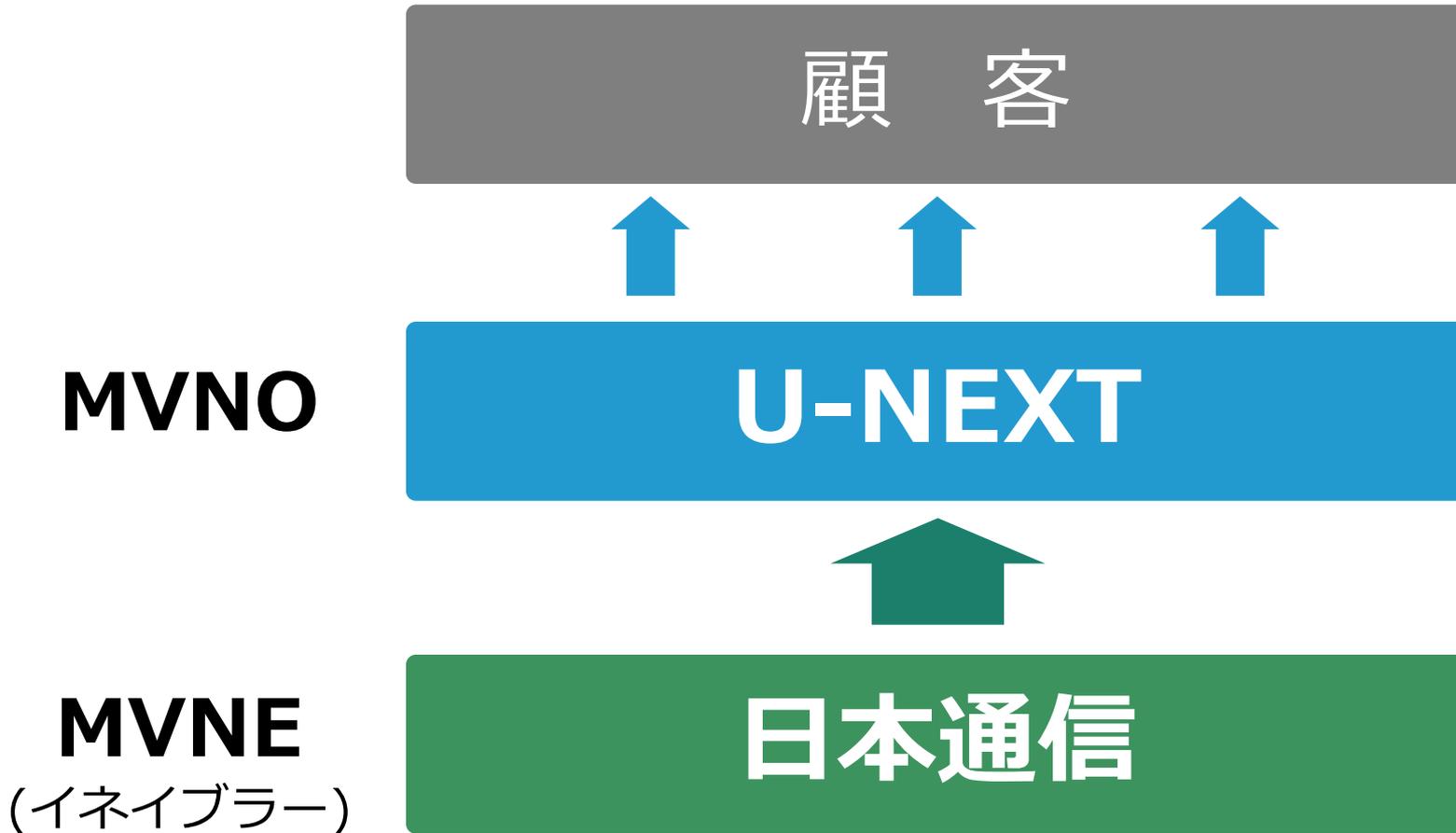
SIM事業に対するイネイブラー事業



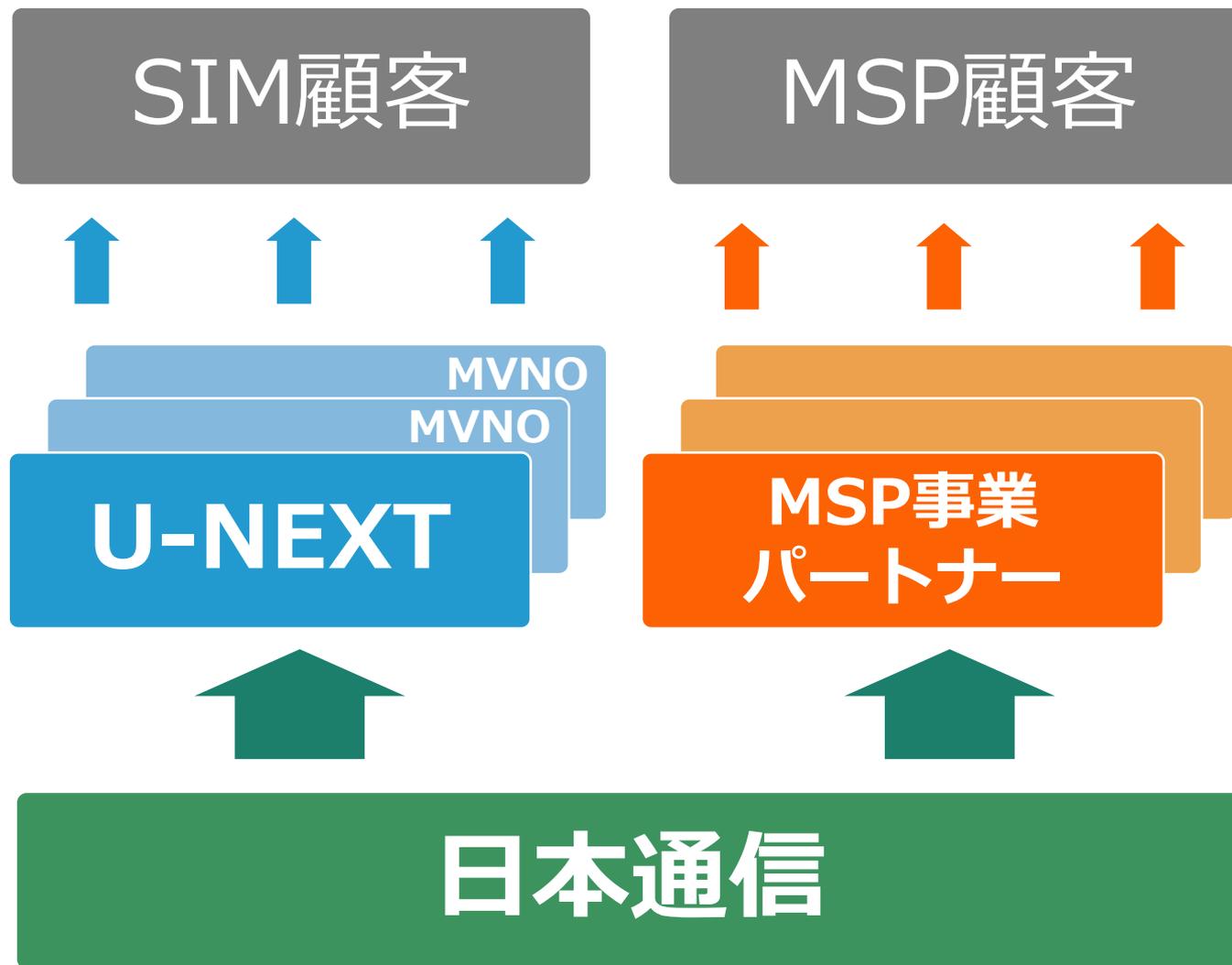
SIM事業のイネイブラー(黒子)として
取り組んでいる3つの課題

- ① **イネイブラー事業の受託**
- ② **ドコモ網以外への展開**
- ③ **技術基盤の深化**
(MVNO第2次規制緩和を受けて)

U-NEXTとの提携



日本通信の事業像



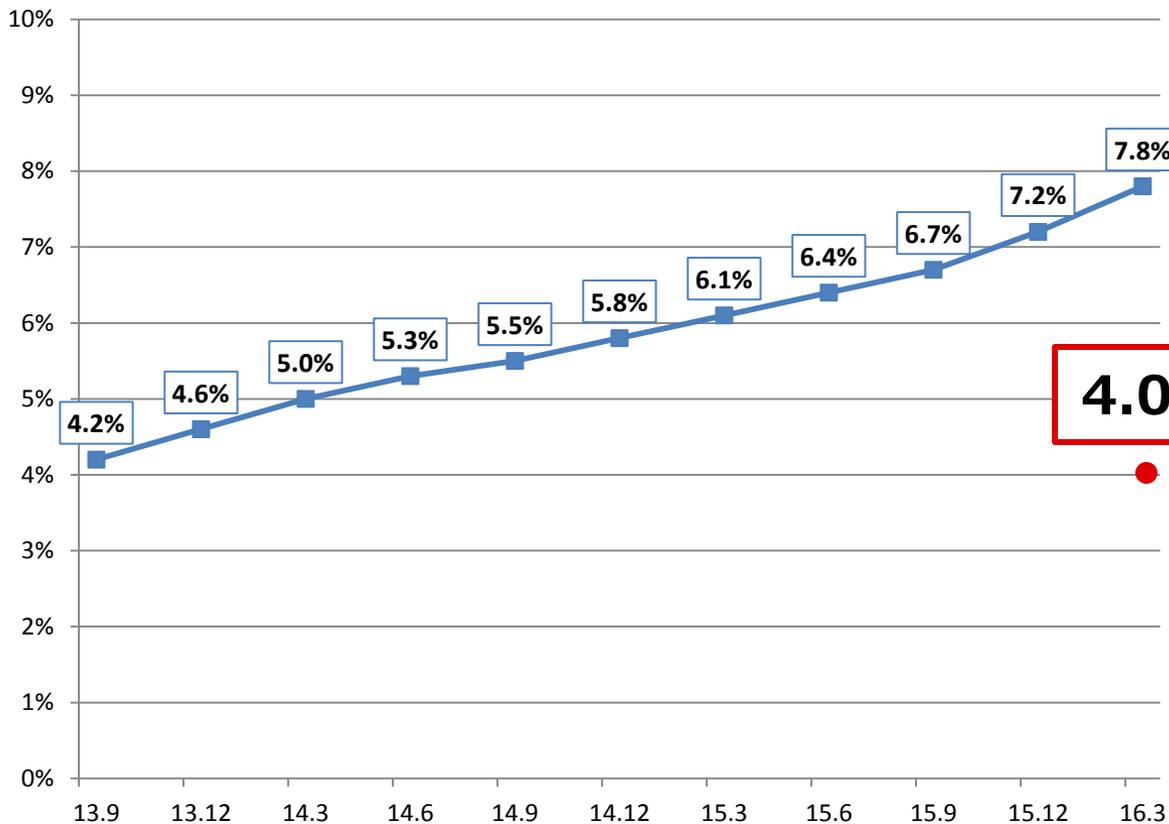
イネイブラー(黒子)

② ドコモ網以外への展開

スマートフォンのユーザー数



2016年3月末時点で4.0%



ほとんどは
ドコモ端末

4.0%

ソフトバンク
端末を対象にする
ことで**倍増**

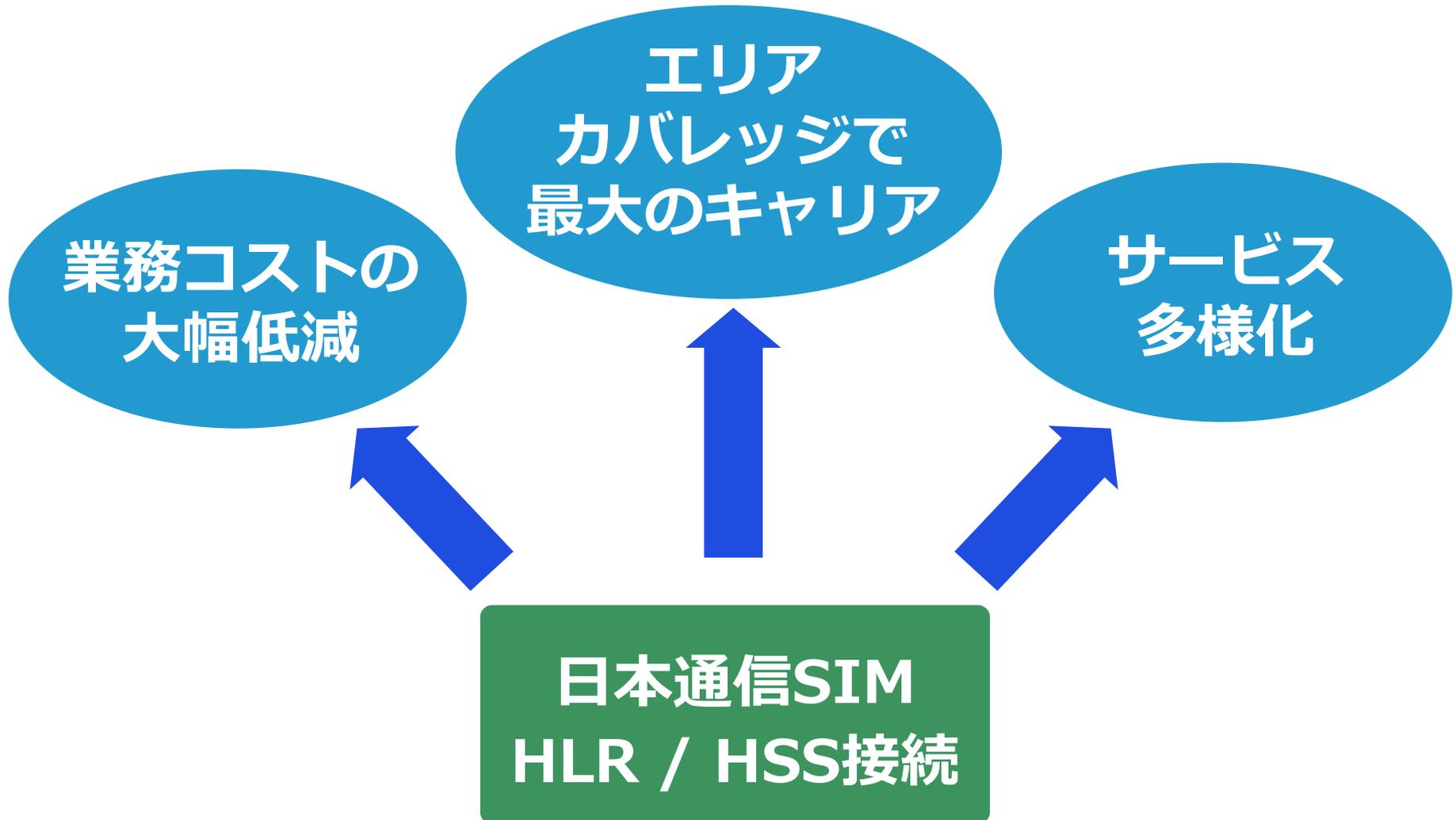
■ MVNO契約数比率

● SIMカード型契約数比率

(出典:総務省平成27年度第4四半期(3月末)の電気通信サービスの契約数及びシェア)

③技術基盤の深化

MVNO第2次規制緩和を受け



財務基盤強化

MVNO第1次規制緩和
2007年11月30日



第1回新株予約権による
資金調達
(2007年12月6日 開示)

ドコモとのレイヤー2
接続完了
2009年3月17日



第2回新株予約権による
資金調達
(2009年3月10日 開示)

MVNO第2次規制緩和
2016年5月21日



第3回新株予約権による
資金調達
(2016年7月12日 開示)

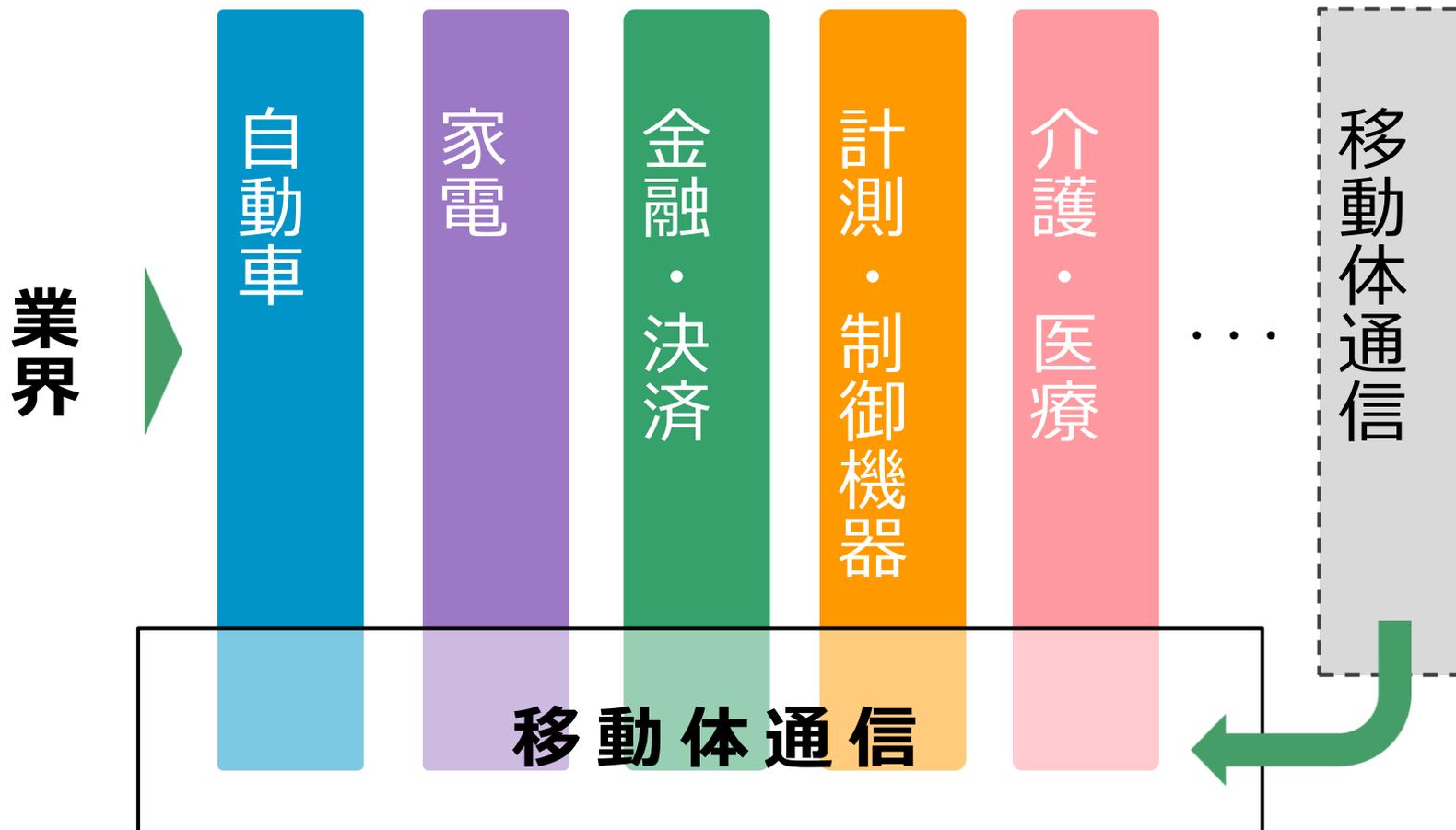
まとめ

- MSP事業
イネイブラー : 事例作り ✓
- SIM事業
イネイブラー : パートナー作り ✓
- 規制環境 : U-NEXTと提携 ✓
- 財務 : 第2次規制緩和
(2016年5月21日) ✓
- 財務 : 財務基盤の強化体制 ✓



Profit is an inevitable outcome of a job well done.

「安心・安全な通信」を提供する



Q & A

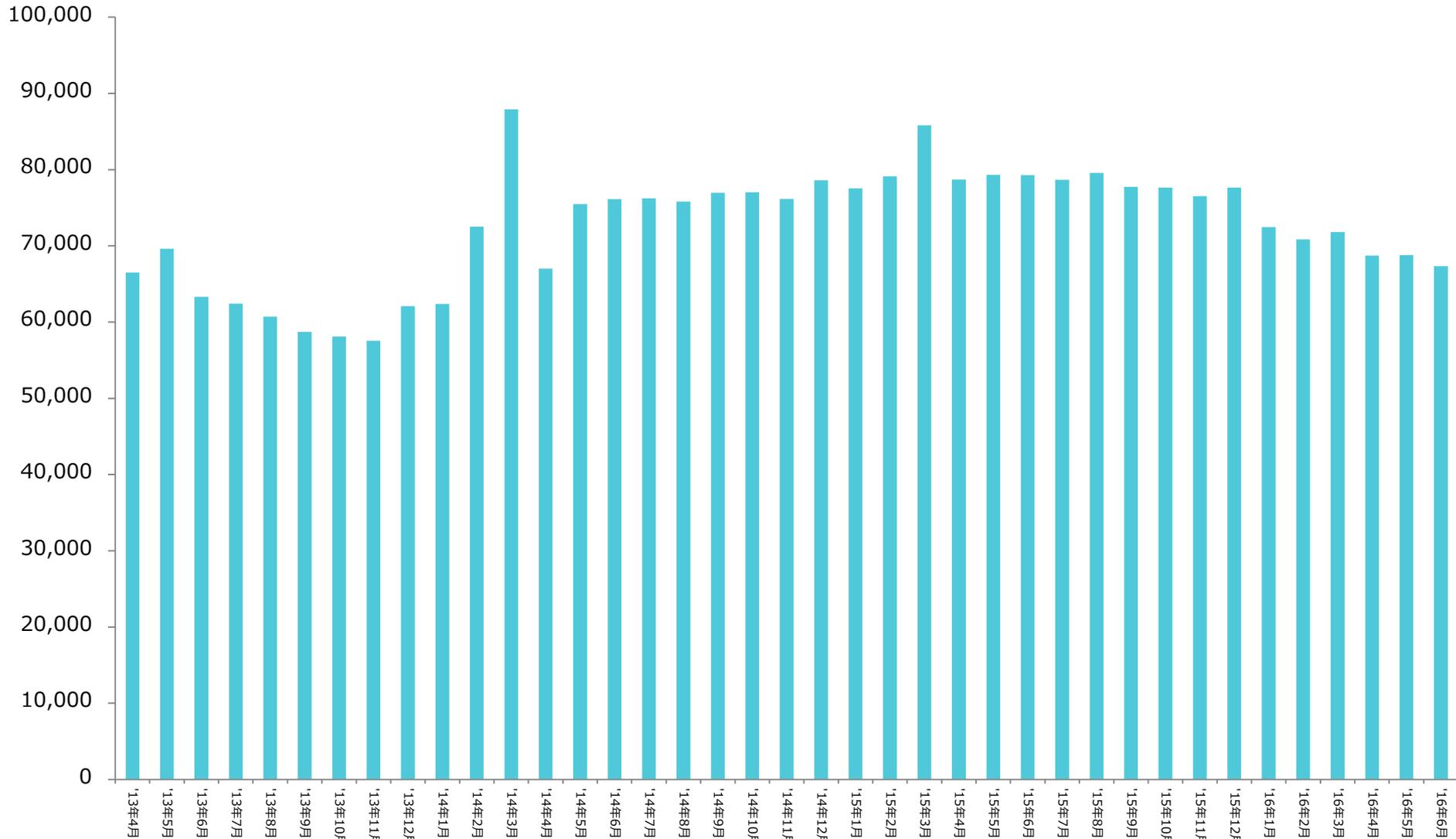
Appendix

(参考資料：既存SIM事業)

月額課金SIM(データ通信)

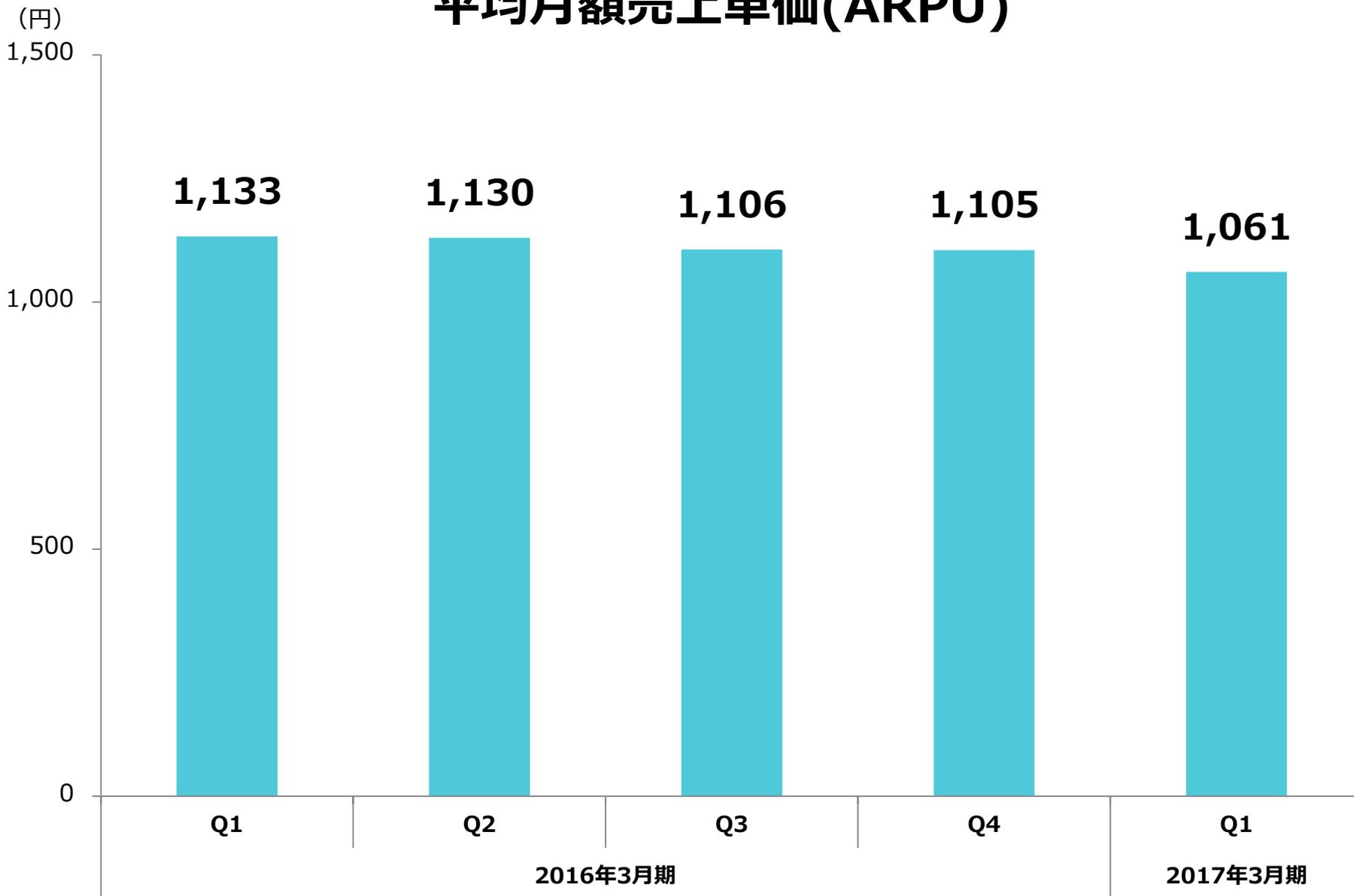
回線数

(回線)



月額課金SIM(データ通信)

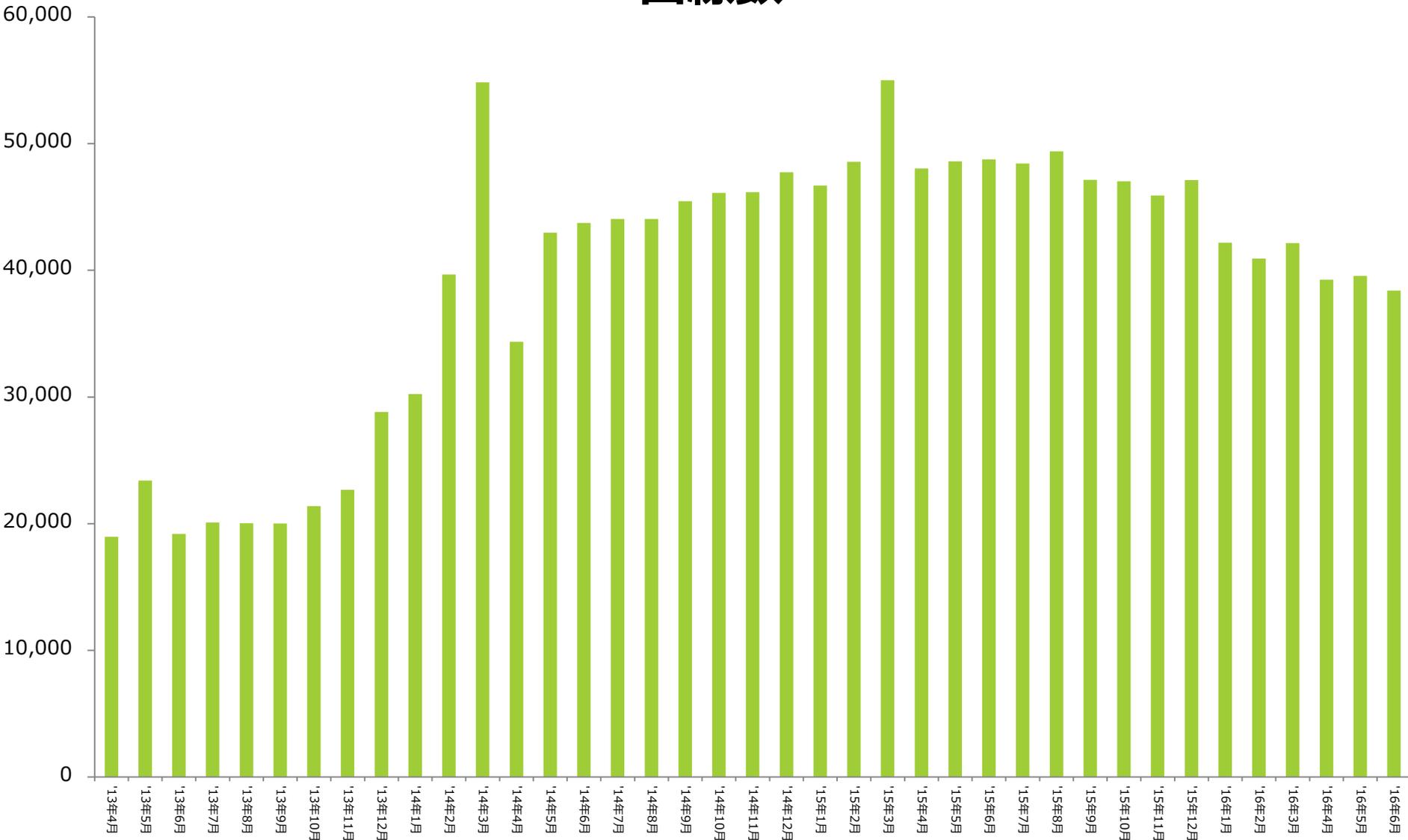
平均月額売上単価(ARPU)



月額課金SIM(音声通信)

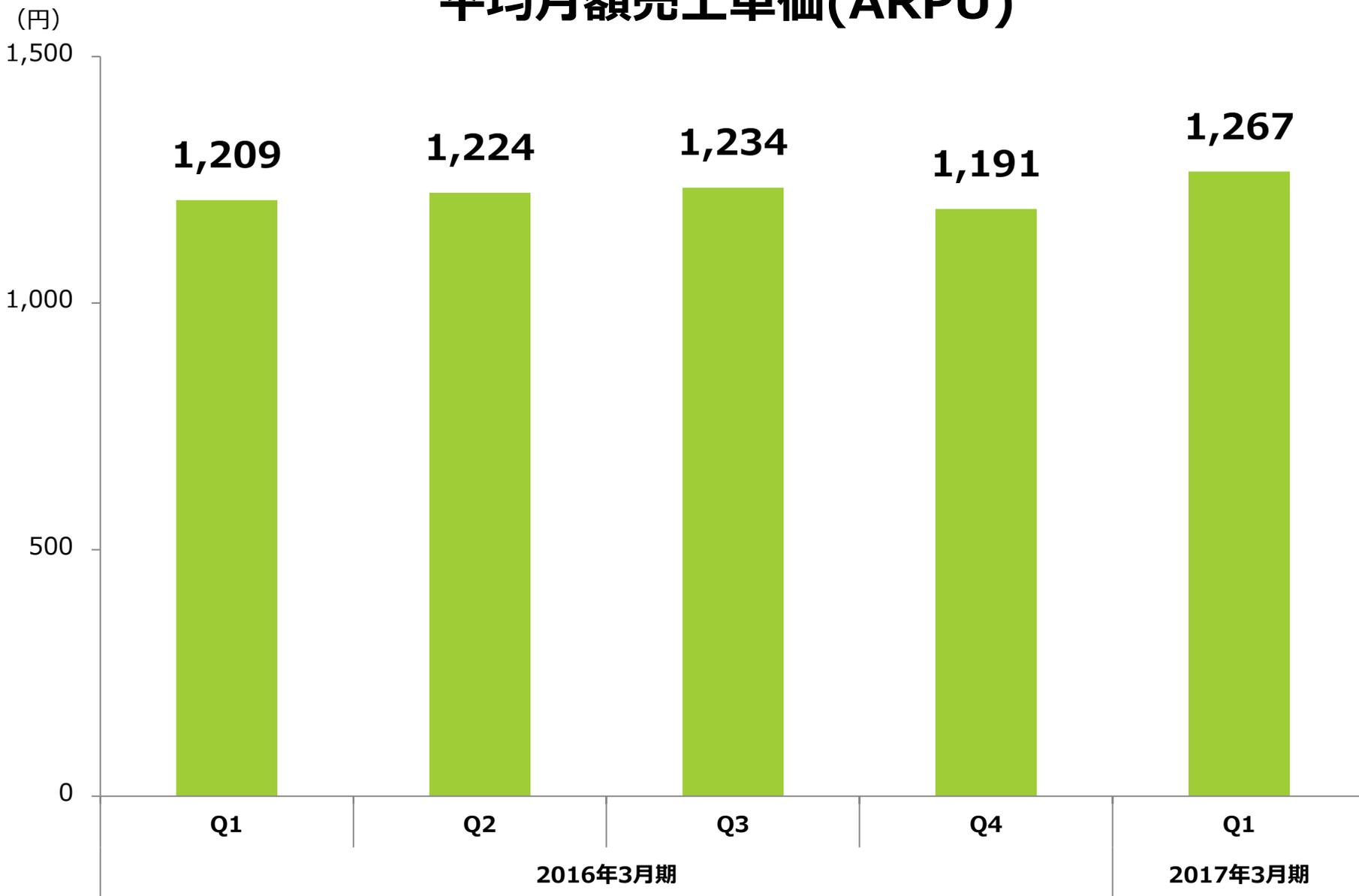
回線数

(回線)

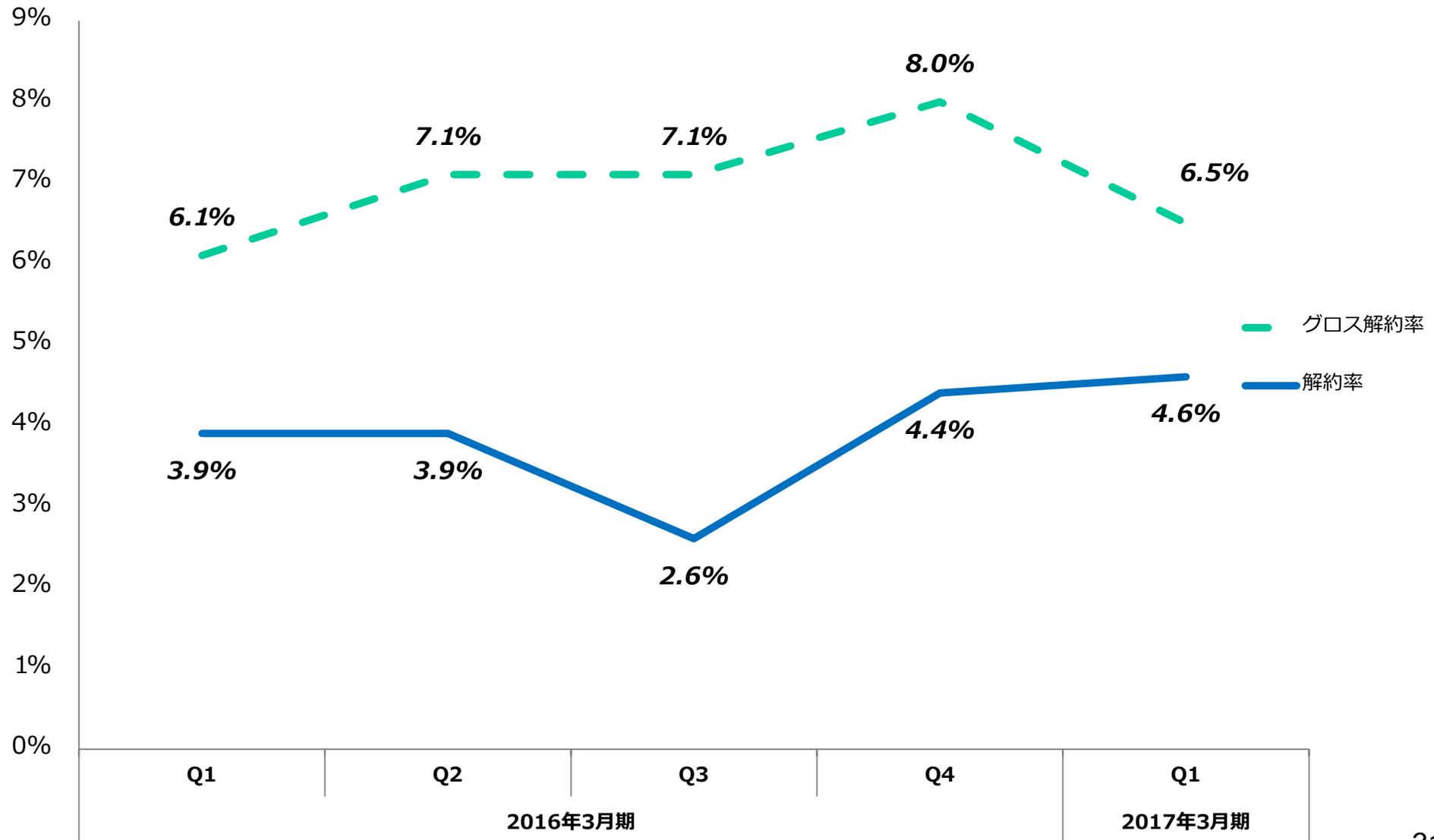


月額課金SIM(音声通信)

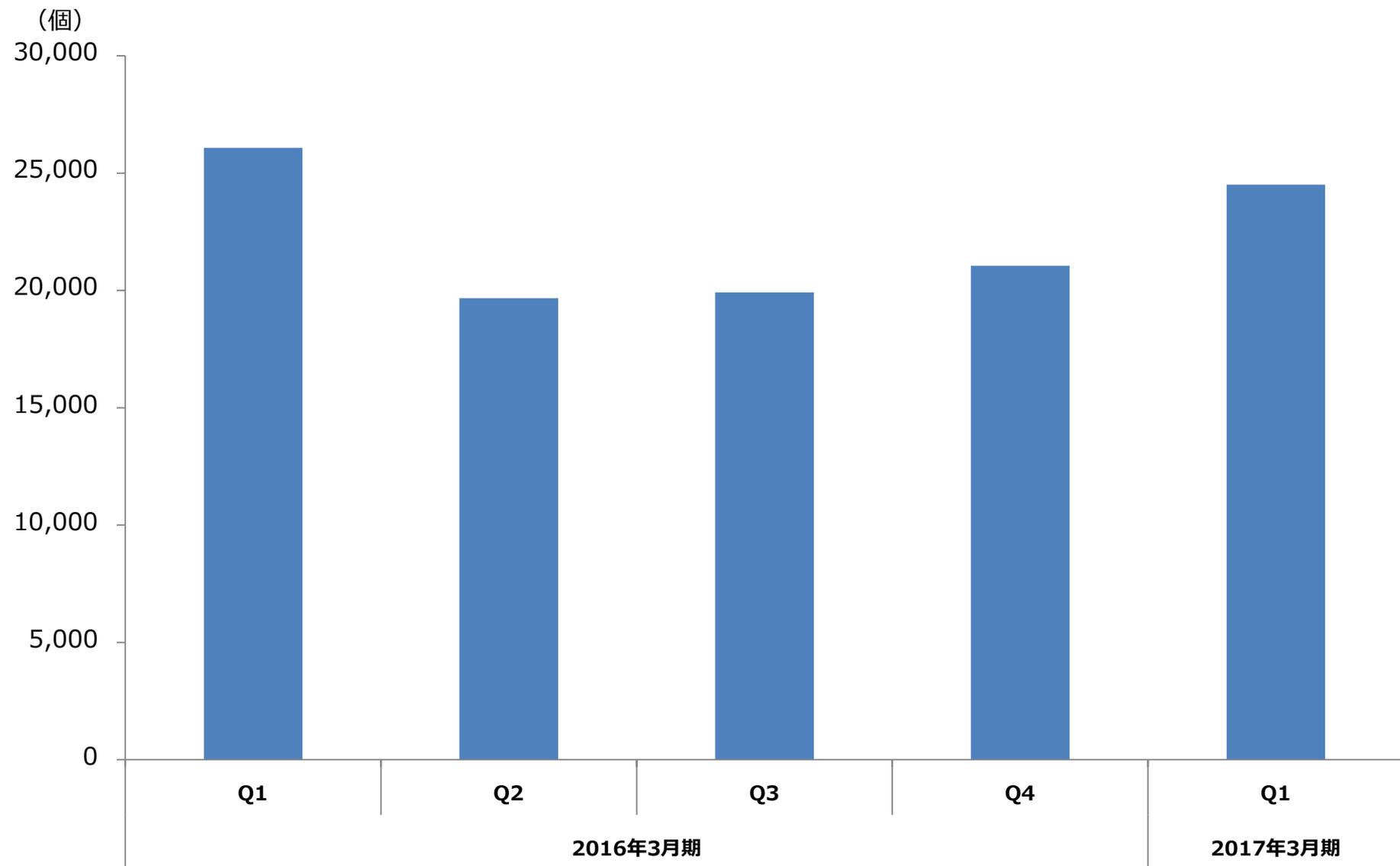
平均月額売上単価(ARPU)



解約率



販売数



平均販売単価

